

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[29]歳、 勤続年数[11]年、 現場経験年数[6] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [過去に 1, 2 回程]、 任務 [隊員]
○当事者 B	年齢[43]歳、 勤続年数[20]年、 現場経験年数[13]年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

1 1 . 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A、 B	水没車両を発見	
経過 2	当事者 A、 B	車両内の要救助者の確認作業を実施	
経過 3	当事者 A	車両のタイヤハウスに潜水器具が挟まる	
経過 4	当事者 A	一時的にパニック状態に陥る	
経過 5	当事者 B	当事者 A の異常な行動を視認する	
経過 6	当事者 B	当事者 A に何が起きているのかわからない	
経過 7	当事者 A	冷静に行動し危険を回避、海面に浮上する	
経過 8	当事者 B	当事者 A の安全を確認し海面に浮上する	
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。危険事象の対応方法を知っていた。集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。

- ### ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1 つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○ 指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

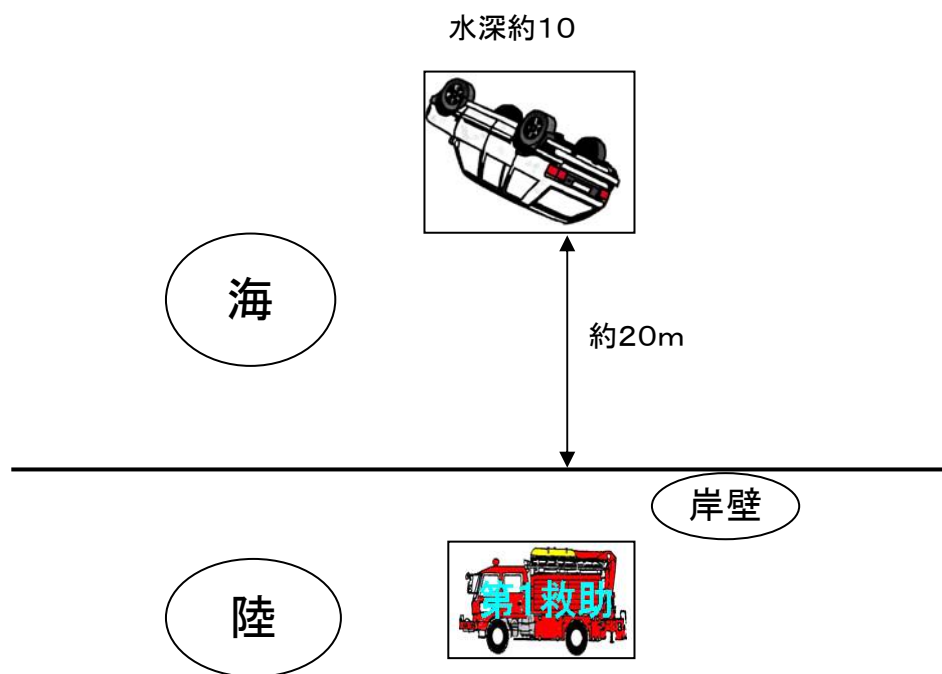
・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○ その他

l . その他の理由があった。

--

視界不良な潜水活動中におけるヒヤリハット



○ヒヤリハット事例：視界不良な潜水救助活動中（水深約１０m）におけるヒヤリハット事
（同様の体験は、初めて体験した。）

(07H0307)

・発生日時　：平成１８年１１月　午後１０時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	備考
		隊員／消防士 ・年齢 29 歳 ・勤続 11 年 ・現場 6 年 ・同様の活動:過去に1,2回程	車長／消防司令補 ・年齢 43 歳 ・勤続 20 年 ・現場 13 年 ・同様の活動:初めて	
	水没車両を発見 ↓ 車両内の要救助者の確認作業を実施 ↓ 車両のタイヤハウスに潜水器具が挟まる ↓ 一時的にパニック状態に陥る ↓ Aの異常な行動を視認する ↓ Aに何が起きているのかわからない ↓ 冷静に行動し危険を回避、海面に浮上する ↓ Aの安全を確認し海面に浮上する 視界不良であった 装備が複雑であった			

◎ヒヤリハットが起きたのはどうしてだと思うか？また、どうして負傷事故に至らなかったか
○直接的な原因：行動の意志決定に問題があった。 ・体力、反射神経等身体能力が優れていた。 ・危険事象の対応方法を知っていた。 ・集中力、注意力があった。 ・避難・退避がうまくいった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因
(心理・体調について) ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 ・活動に対する経験が不足していた。 (活動環境について) ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 (指揮・管理について) ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） ・隊員の連携が不十分だった。